

# 平成17年度事業報告書

## 事業報告

自 平成17年4月1日

至 平成18年3月31日

### 【I】概況

わが国経済は、長期にわたる低迷から、ようやく回復の兆しが見えてきました。ライフスタイルの変化や高齢化社会の進展等社会状況の変化を背景に、「心の豊かさとゆとり」ある生活を送る為に、様々なスポーツ活動を積極的に実践しようとする気運が高まっております。スポーツは益々身近なものになり、健康増進への欲求はさらに拡大するものと予想されます。

当財団は設立以来27年を経過し、本年度もその事業目的であるスポーツ科学の研究助成並びにオリンピック事業の推進、トップレベルの選手育成・強化を目的とした団体、また同時に国民スポーツのより一層の健全な普及・発展に寄与することを目的とした団体への助成を中心に活動を行うなど、関係者各位のご支援により所期の目的を達成することができました。

さらに、機関誌として「デサントスポーツ科学」Vol. 26を刊行し前年度の事業成果を広く公表いたしました。

### 【II】研究及び助成報告

(1)健康の増進と体力の向上及びスポーツ関連科学に関する研究委託並びに調査・研究に対する助成。

#### 1)研究委託(200万円)

学術委員会・選考委員会において審議の結果、下記1件を選定し、本年度委託研究テーマとして研究を委託いたしました。

##### ①「機能的スポーツウェア設計のための基礎研究—人体加圧の生体影響—」

研究リーダー 文化女子大学 田村 照子

#### 2)課題研究(100万円)

学術委員会・選考委員会選定テーマ「身体能力の効果的向上法」の調査・研究に対する助成で、応募総数10件のうち、下記1件に対し助成を行いました。

①「高齢者の運動能力改善を目的とした水中運動器具の開発」

研究リーダー

大阪市立大学

小池 達也

3)自由課題研究(総額940万円)

全国にわたる96の大学または、その他の学校、研究機関より応募された171件の課題の中から学術委員会・選考委員会の審査の結果、下記23件に対し助成を行います。

●最優秀入選(100万円)

①「高強度・短時間の間欠的運動は骨格筋のインスリン感受性を高めるか？」

新潟医療福祉大学

川中 健太郎

●優秀入選(各50万円)

①「レジスタンス運動は運動後の非活動筋エネルギー消費量を亢進させるか」

国立沖縄工業高等専門学校

永澤 健

②「運動トレーニングが骨格筋の酸素利用能力に及ぼす影響」

金沢大学

増田 和実

③「肥満小児のインスリン抵抗性獲得における内臓脂肪の影響」

三重大学

富樫 健二

④「wavelet 表面筋電図周波数解析を用いた歩行時の質的筋活動分析」

吉備国際大学

加藤 浩

⑤「更年期不定愁訴に対する運動処方への検討」

山形大学

遠藤 由美子

⑥「スポーツブラジャー設計のための走行中の乳房振動、衣服圧変動、

ブラジャーと乳房のズレの相互関係の解明」

京都女子大学短期大学部

岡部 和代

●入選(各40万円)

①「撥水加工によるスポーツウェアの吸水性低減が体温調節反応におよぼす影響」

神戸女子大学

田中 香利

②「野外スポーツにおける紫外線カット処理ウェアの開発と評価」

大阪教育大学

織田 博則

③「加齢に伴う中心動脈伸展性低下を抑制するための

身体活動ガイドラインの構築」

独立行政法人産業技術総合研究所

菅原 順

- ④「運動による前頭葉機能への影響に関する研究  
 ー足趾運動は前頭葉機能に影響を与えることができるのかー」  
 広島大学 車谷 洋
- ⑤「重量荷重トレーニングと体位変換トレーニングは姿勢保持機能を改善するか？  
 ー身体的生活機能と下肢伸張反射の姿勢性調節を指標とした介入研究ー」  
 財団法人明治安田厚生事業団  
 体力医学研究所 江川 賢一
- ⑥「水分摂取量の違いが高血圧中高年登山者の登山時の血圧に及ぼす影響」  
 九州大学 斉藤 篤司

●佳作入選（各 30 万円）

- ①「足底面の皮膚感覚情報によるつまずき反応の特徴」  
 東京学芸大学 中島 剛
- ②「児童期の習慣的な運動が思春期後の力調節安定性に及ぼす影響」  
 大分県立看護科学大学 吉武 康栄
- ③「低酸素環境を利用したトレーニングが運動効率および  
 ヘモグロビン酸素親和性に及ぼす影響」  
 順天堂大学 内丸 仁
- ④「萎縮骨格筋における筋力低下ならびに易疲労性の分子メカニズム  
 ー新しいリハビリテーション法の開発を目指してー」  
 東京慈恵会医科大学 福田 紀男
- ⑤「体冷却がその後の正弦波状運動時における呼吸循環系の応答に及ぼす影響」  
 山口大学 曾根 涼子
- ⑥「クレアチン摂取が暑熱環境下における長時間間欠的運動の  
 パフォーマンスに及ぼす影響」  
 小山工業高等専門学校 石崎 聡之
- ⑦「新規フルオロアルキル基含有オリゴマーによる繊維の防汚・抗菌加工」  
 京都工芸繊維大学 川瀬 徳三
- ⑧「低強度・筋力トレーニングが若年女子の内臓脂肪および  
 身体組成に及ぼす影響についてー有酸素運動との比較検討ー」  
 愛知学院大学 梶岡 多恵子
- ⑨「スペシャルオリンピックスに参加する知的発達障害者における  
 骨密度の実態調査と低骨密度改善のための指導」  
 辻学園栄養専門学校中央研究室 青江 智子
- ⑩「活動後増強による筋力および筋パワー向上効果」  
 鹿屋体育大学 島 典広

以上、研究委託1件、課題研究1件、自由課題研究23件の研究成果報告につきましては、平成18年6月発行予定の機関誌「デサントスポーツ科学」Vol.27において広くわが国の研究機関、関係者に公表いたします。

(2)スポーツ科学の国際交流を目的とする団体の助成（100万円）

諸外国とのスポーツ科学における人的・学問的交流を積極的に推進するため、日本体力医学会への助成を行いました。

(3)スポーツの振興・発展を目的とする団体の助成（250万円）

国民スポーツのより一層の健全な普及・発展に寄与するため、財団法人日本体育協会に助成を行いました。

(4)わが国のオリンピック事業の推進を目的とする団体の助成（250万円）

オリンピック事業の推進並びにトップレベルの選手育成・強化に寄与するため、財団法人日本オリンピック委員会に助成を行いました。

(5)スポーツの施設・用具・衣服に関する学術的資料の収集、保存及び公開、本財団の事業推進に関し必要と思われる学術的資料の収集を図るため、日本体力医学会、社団法人繊維学会、社団法人日本繊維製品消費科学会、社団法人日本繊維機械学会等に対し賛助を行いました。

### 【Ⅲ】活動報告

(1)機関誌「デサントスポーツ科学」Vol.26 発行

平成17年6月

(2)第27回定時総会及び助成金目録贈呈式

日時：平成17年6月2日（木）

11:30～11:45 理事会・評議員会

11:45～12:30 助成金目録贈呈式

12:30～13:30 懇親会

場所：株式会社 デサント 東京オフィス

議題：①平成16年度事業報告書承認の件

②平成16年度収支決算書承認の件

③任期満了に伴う評議員選任の件

④株主権の行使について

(3)第 14 回課題学術研究及び第 27 回自由課題学術研究委託及び自由課題学術研究  
助成金交付 平成 17 年 7 月 8 日

(4)第 28 回自由課題学術研究公募開始  
平成 17 年 9 月 1 日

(5)第 28 回自由課題学術研究公募締切  
平成 17 年 11 月 10 日

(6)第 28 回自由課題学術研究公募申請書審査  
平成 17 年 11 月 10 日～平成 18 年 2 月 10 日

(7)第 14 回課題学術研究、第 27 回自由課題学術研究委託及び自由課題学術研究  
成果報告書提出締切  
平成 17 年 11 月 25 日

(8)財団法人日本オリンピック委員会、財団法人日本体育協会ならびに日本体力医学会  
への寄附金交付  
平成 17 年 12 月 26 日

(9)学術委員会・選考委員会

日時： 平成 18 年 2 月 28 日（火） 12:00～14:30

場所： 株式会社 デサント 東京オフィス

議題： ①第 28 回自由課題学術研究公募審査の件

②学術研究委託選定の件

③その他

(10)理事会・評議員会（書面）

月日： 平成 18 年 3 月 17 日（金）

議題： ①平成 18 年度事業計画書案承認の件

②平成 18 年度収支予算書案承認の件

以 上

# 平成17年度収支決算書

## 収支計算書

平成17年4月1日から平成18年3月31日まで

(単位：円)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
<b>I 収入の部</b>				
1. 基本財産運用収入	<b>(23,050,000)</b>	<b>(23,245,886)</b>	<b>(△195,886)</b>	
基本財産利息収入	15,450,000	15,632,171	△ 182,171	
基本財産配当金収入	7,600,000	7,613,715	△ 13,715	
2. 雑 収 入	<b>(0)</b>	<b>(13,836)</b>	<b>(△13,836)</b>	
受 取 利 息	0	2,551	△ 2,551	
雑 収 入	0	11,285	△ 11,285	
3. 寄 付 金 収 入	<b>(0)</b>	<b>(0)</b>	<b>(0)</b>	
寄付金収入	0	0	0	
4. 特定預金取崩収入	<b>(20,000,000)</b>	<b>(10,000,000)</b>	<b>(10,000,000)</b>	
記念事業積立預金取崩	10,000,000	10,000,000	0	
助成金積立預金取崩	10,000,000	0	10,000,000	
当期収入合計	<b>43,050,000</b>	<b>33,259,722</b>	<b>9,790,278</b>	
前期繰越収支差額	<b>5,649,810</b>	<b>5,700,869</b>	<b>△ 51,059</b>	
収入合計	<b>48,699,810</b>	<b>38,960,591</b>	<b>9,739,219</b>	
<b>II 支出の部</b>				
1. 事 業 費	<b>(28,400,000)</b>	<b>(27,211,441)</b>	<b>(1,188,559)</b>	
(1) 課題研究費	1,000,000	1,000,000	0	
(2) 委託研究費	2,000,000	2,000,000	0	
(3) 助成金支出	9,400,000	9,400,000	0	
(4) 寄附金支出	6,000,000	6,000,000	0	
(5) 資料収集調査費	2,000,000	1,375,000	625,000	
(6) 印刷製本費	8,000,000	7,436,441	563,559	
2. 管 理 費	<b>(4,800,000)</b>	<b>(3,824,280)</b>	<b>(975,720)</b>	
(1) 給与手当	1,300,000	1,194,441	105,559	
(2) 会議費	1,600,000	1,490,941	109,059	
(3) 旅費交通費	1,500,000	1,023,000	477,000	
(4) 通信運搬費	100,000	59,820	40,180	
(5) 消耗品費	50,000	0	50,000	
(6) 印刷製本費	100,000	0	100,000	
(7) 雑 費	150,000	56,078	93,922	
3. 特定預金支出	<b>(10,000,000)</b>	<b>(0)</b>	<b>(10,000,000)</b>	
助成金積立預金	10,000,000	0	10,000,000	
4. 予 備 費	<b>(500,000)</b>	<b>(0)</b>	<b>(500,000)</b>	
当期支出合計	<b>43,700,000</b>	<b>31,035,721</b>	<b>12,664,279</b>	
当期収支差額	<b>△ 650,000</b>	<b>2,224,001</b>	<b>△ 2,874,001</b>	
次期繰越収支差額	<b>4,999,810</b>	<b>7,924,870</b>	<b>△ 2,925,060</b>	